

市長タウンミーティング議事録

報告日：令和4年(2022年)8月7日

- 日時 令和4年8月6日(土)14:00~15:30
- 場所 多文化交流センター(小野原) 2階講座室
- 参加者数 会場参加:10名 オンライン参加:10名
- 対応者 上島市長、地域創造部 小山部長、健康福祉部 長谷川担当副部長、みどりまちづくり部 松政副部長、子ども未来創造局 金城学校教育監、子ども未来創造局 山田担当副部長、市立病院 三宅事務局長
- 事務局 市民サービス政策室 9名

【質疑応答概要】

● 阪大跡地の活用について

- ・ 彩都地区は、粟生間谷地区と同様に、坂が多いため徒歩での移動が困難である。高齢者が運転免許を返還した後、徒歩で遠距離の移動を行うのは大変不便である。現在は高齢化率が4%だが、数十年経過すると、このような課題を抱える人が増加すると考えている。
- ・ 阪大跡地の活用については、この課題解消も見据えて検討していただきたい。

(市からの回答)

- ・ 阪大跡地の活用方法については、現在公募しており、9月頃に優先交渉事業者を選定する予定となっている。阪大跡地の活用条件として、地域の活性化に貢献する地域貢献エリアや、緩衝緑地を設けることを盛り込んでおり、カフェエリア、買い物エリアなど幅広い検討がなされている。優先交渉事業者が決まれば市民へも順次、説明をしていく。
- ・ バス路線の再編についても、箕面萱野駅を中心とした再編になるが、東部地区のかたがこれまで通り便利に利用いただけるように検討を進めている。

● 子育て日本一に向けた施策について

- ・ スライドで、市長が「子育て日本一」をめざしていると説明されていた。同じように子育て日本一をめざす明石市では、様々な斬新な施策を行っている。箕面市では、従来にないような施策を何か検討しているのか。

(市からの回答)

- ・ 「私立高校の授業料無償化」や「幼児教育の無償化」は、全国に先駆け大阪府が実施し、全国へ広まっていった。箕面市でも、市民から預かった税金を、より質の高い住民サービスで還元していきたい。

- ・ 大阪市では小中学校の給食費無償化を既の実現しており、箕面市でも同様の施策が実現できるよう、行政のマネジメントをしっかりと行い、財源確保に努めたい。

● 新市立病院の整備について

- ・ 市立病院の建替理由について、この理由では納得できない。築 40 年が経過したと説明されているが、例えばヨーロッパでは築 100 年以上が経過した病院が利用されていることはよくあり、年数の経過は建替の根拠にはなっていないと考えている。
- ・ 長期修繕計画をきちんと策定して、継続的で合理的なメンテナンスを行っていけば、長持ちするはずだ。また、市立病院のような大きな建物を取り壊す場合は、膨大な産業廃棄物が出るため、環境への負荷もある。市立病院建替の客観的、合理的な根拠を聞きたい。

(市からの回答)

- ・ 日本の病院の建替年数は、病院関係団体の調査によると平均 30~40 年程度。また、建物自体はまだ利用可能かもしれないが、病院は 24 時間運営のため、設備を止めてメンテナンスすることが困難である。
- ・ 箕面市立病院は、大阪府内の 100 床以上の病院では最古の建物となっているが、建替の理由は築年数だけではない。鉄道延伸による船場地域の発展や、好立地条件を踏まえ、健康医療・ヘルスケアの一大拠点として病院の移転が決定した。
- ・ 病院跡地については、子育て教育日本一のシンボルとなる学校を新設していきたいと考えている。

● 彩都の山道・難聴者の対応について

- ・ 彩都に住んでいるが、サイクリングしている方の迷惑行為が多い。道幅が狭いのでとても困っている。広くできないのか。
- ・ 山道に外灯がないので夜道が真っ暗で何も見えないから危険である。点字ブロックも付けていただきたい。
- ・ 耳が聞こえないということで、クリニックやプールの利用を断られたことがあり、障害者への配慮を考えてほしい。

(市からの回答)

- ・ 今ある道幅を広げるのは難しいが、市役所の前の中央線で実施したように、現在の道幅の中で歩道に色を塗り歩行者と自転車の動線を分けるといったことも、市街地で今後実施していきたいと考えている。点字ブロックも歩道のある道路で車道を横断する箇所には順次付けていっているが、まだ付いていない箇所があればご連絡いただきたい。
- ・ 聴覚障害者への対応については、市役所窓口における要約筆記のため、

話したことがそのまま文字になるツールの検討など、障害者のかたに対して、優しく丁寧な対応ができるようめざしていく。

● 衣料品店の減少について

- ・ 以前はキューズモール（旧カルフル）で高齢者向けの衣料品が買えたが、現在は、若者向けの衣料品や食料品のみとなってしまった。高齢者向けの衣料品（肌着等）が売っている場所を作ってほしい。

（市からの回答）

- ・ 箕面萱野駅は、今後、ターミナル駅として、賑やかな街へと発展していく。そのため、キューズモールにもより多くの人が集まるようになると考えている。その際に、色々な店舗の出店が検討され、その中に高齢者向けの衣料品を販売する店舗も検討されると考えている。市からも、いただいた要望は東急に伝えていきたいと思っている。
- ・ 高齢者向け衣料品は市内のライフ等でも充実しているので、参考とされたい。

● 陣痛タクシーの利用について

- ・ 以前住んでいた京都では陣痛タクシーの制度があったが、箕面市では実施されていないのではないかと。

（市からの回答）

- ・ 陣痛タクシーの制度はないので、実施の可否については今後検討していく。

● 川合山之口地区の新駅について

- ・ 川合山之口地区の新駅について、何か進捗はあるのか。

（市からの回答）

- ・ 新駅の具体的な検討については、まちづくりの動向を踏まえ、新たな乗降客需要を見極めたうえで、駅設置に向けた検討を本格化していく。

● 彩都地区の医療機関について

- ・ 彩都地区には、内科や外科等の医療機関がない。彩都の丘学園の付近にも医療機関がない。コロナのワクチン接種に行くのも、大変不便だった。阪大跡地利用に絡めて、医療機関を設置してほしい。

（市からの回答）

- ・ 森町においても、まちびらき後に同様の話があり、最近になってようやく医療機関ができた。彩都のニーズは大きいと考えられるため、今後、阪大跡地の活用も含めて、彩都地域のクリニックの誘致について検討していきたい。

- ・ ただし、クリニックが開業する場所を選ぶのに、市は直接関与はできない。いただいた要望は医師会に伝え、新しくクリニックの開業の話があった際には彩都地区への開業を検討をしてもらうよう依頼する。

● **市立病院の指定管理制度の導入について**

- ・ 新市立病院の運営方針の説明の中で、指定管理を検討している、という話があった。直営と指定管理、それぞれをきちんと比較して検討した結果そうだったのか。
- ・ また、指定管理になると感染対策も変わってくるのではないか。

(市からの回答)

- ・ 運営方針については、7回にわたる審議会の中で、指定管理制度を導入するという結論に至ったものである。
- ・ 直営、指定管理に関わらず、感染症についてはしっかり対応していく。新病院では、病床の完全個室化等を検討している。